

2017 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [大津市立志賀中学校] 担当教諭名 [堤 祥晃] (2年生182名 美術部1-2年 23名)

相手国・地域 [サウジアラビア]

海外学校名 [Al Hussan International School] 担当教諭名 [Saira Muhammad]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	美術部	国際交流壁画共同制作プロジェクト	50
	技術・家庭	私たちの暮らしとエネルギー	2
	英語	外国の中学生の自己紹介を読もう！	1

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	未来のエネルギー問題を考える
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	限りある資源を次の世代に残すためにどのような取り組みが必要か？ また、私たちにできることは何か？



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
前年に引き続きテーマ学習に力を入れたため、単に描く活動ではなく、国際交流を通して学ぶことが多かった。また、活動を重ねる中で、生徒のチームワークやコミュニケーション能力にも成長が見られた。異文化理解についても、普段あまり接点のないイスラム文化を知ることができた。	エネルギー問題の解決は、大人でも答えの出ない内容で子ども達には難しく、子ども達が自分で考えるよりも、こちらがある程度誘導して教えるという側面が多かった。また、お互いに学校行事や長期休業等で活動が制限され、スケジュール通りに進めることができなかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
イスラム文化圏の国なので、生徒はあまりなじみがないという印象であったが、色々と調べていくうちに興味を持った様子であった。マスコミの報道でイスラム国などの情報があり、多少「怖い」とか「よくわからない」というイメージがあったようだが、活動の後半はすごく好意的にとらえていた。	教師自身もイスラム文化圏の国について知らないことが多かったので、今回の取り組みを通してサウジアラビアについての理解が進んだ。また、相手の国の生徒が日本語を勉強している姿を見て、国際交流に対する意識や熱意の高さを感じた。日本の教育現場はこの分野にもっと積極的に取り組む必要がある。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	英語で自己紹介を考え、撮影した自分の写真とともにフォーラムにアップする。日本の文化を紹介するための動画を撮影する。サウジアラビアの自己紹介(英文)を読む。	自己紹介では、各自が英文を英語科の教員にチェックしてもらいながら楽しく取り組んでいた。動画の撮影では色々内容を工夫しながら何度も撮りなおす姿が見られた。	美術部12 英語1
共有 テーマ学習	10月 11月	双方の国で「エネルギー問題」というテーマで学習し、その内容を交流する。再生可能エネルギーや原子力発電、エネルギー自給率についてグループで議論する。	難しいテーマなので、最初は内容が理解できず困った様子であったが、技術・家庭科にも協力してもらって学習を進め、中学生なりに深く考えることができた。	美術部8 技術・家庭2
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月 12月	テーマ学習の成果をもとに、壁画に描く内容を話し合う。構図や配色を何パターンか提案し、話し合った内容をもとに原案を描く。	話し合っただけの壁面のテーマは描きにくい内容であったようで、図案を考えるのに行き詰まる生徒が多かった。また、みんなが似たような図案になってしまった。	美術部8
創造 壁画制作	12月	話し合っただけの原案に修正を加えて原案を描く。原案をプロジェクターで拡大して描き、分担して着色する。	選ばれた原案を元に、みんなが意見を出し合っただけのデザインを修正していた。拡大して描く、塗る作業では分担しながら協力し、楽しみながら丁寧に取り組むことができた。	美術部20
評価 振り返り 自己評価	3月	全員で完成した作品を囲んで鑑賞会を行う。	双方の絵がテーマをもとにして図案も内容もきれいにつながったことに、とても満足している様子であった。	美術部2

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	交流相手に日本の文化や風習を紹介する際に、紹介の仕方や動画の撮影内容等を相談し、わかりやすく伝えるために工夫していた。
異文化を理解する力	4	サウジアラビアに興味関心を持ち、食文化、ファッション、イスラム教、自然について熱心に調べていた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	3	時間的に厳しいこともあって、じっくり調べることができなかった。掲示物を作って校内に発信したが、完成度がかなり高いもののができた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	2	テーマ学習の内容を深くすると英語が難しくなるため、翻訳に関してはほとんど教員が行っていた。交流の時間も十分とはいえなかった。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	2	テーマ学習の内容が難しく、日本のエネルギー政策の問題点を指摘するところまで話し合いが深まらなかった。
主体的に考え行動する力	4	協働学習や壁画の制作、校内展示物の制作では、子ども達が自分達で役割分担や段取りをして熱心に活動していた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	活動を進める中で徐々にチームワークが育っていき、集団の雰囲気が格段に良くなった。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	テーマに合わせた図案にするために、描く内容、構図、配色を考え、工夫して描いていた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	相手国が、テーマを共有して色彩や描く内容を合わせてくれたことなどを読み取りながら作品を鑑賞できた。